

時間という財産を活用して……青年 後世へのよい歴史づくりを……市長

若者が市長を囲み座談会



現在、そして未来を語り合う若者と市長

二十一世紀を担う若者たちが、石井市長を囲んで座談会を開きました。この座談会は、国際青年年の最終行事として、十二月十五日中央公民館で開催されたもので、若者の夢や抱負を語って、市長と一緒に考えようというねらいです。出席した若者の代表は、小学校教諭の石原康子さん（下他門）、市の青年団長笹川芳樹さん（上黒山二区）、豊栄青年会議所の横山

山人さん（上嘉山）、市の保健婦深井美千代さん（新鼻甲一）の男女四人で全員二十代です。出席者は、それぞれ「若い者には時間という大きな財産がある。これを有効に生かし、器があれば市長になつて人のために尽くしたい」「学歴社会の弊害を取り除いて、ゆとりをもって児童を育てたい」「人間の幸せは何と言つても健康と平和、より多くの人が幸せを実現できるように努めたい」などと話しました。

一方、急速に進む高齢化社会にどう対処したらよいかといった疑問や、若者が定着できるように企業誘致や文化施設の充実を、災害の心配がないよう福島潟のしゅんせつをといた要望、また、コミュニティ活動を盛んにして市民意識と連帯感を高めてはといった提言などが出されました。これに対して市長は、いきさつや現況を説明し、皆さんからの意見を策定中の第三次総合計画の中で検討すると述べ、最後に「二十一世紀はまさに君たちの時代です。これからの時代は、さまざまな分野で技術革新がめざましく進みます。自分や地域、世の中をよくするため、未来を展望し、いい歴史づくりに努めましょう。機会を見てもっと大きい夢を語り合いたい」と締めくくりました。

わたしの自治会 (14) 浦ノ入 切尾山神社で虫まつり



切尾山神社の裏を通る新バイパス

浦ノ入は、木崎地区のはずれで聖籠町に接する世帯数百二十戸の自治会です。浦ノ入には昭和五十六年に完成した近代的な設備を誇る環境センターがあります。ここでは、市内で集められたゴミ（一日約四十五トン）が衛生的に処理されています。また、大相撲の九州場所所で五勝二敗の好成績をあげ、三段目に昇進した力士島山（二所ノ関部屋）は浦ノ入の出身です。自治会長の伊藤正作さん（六十四歳）は、「この辺は、砂丘地帯なので昔から製やぶどうなどの果樹を栽培する静かな農村地帯でした。それが新バイパスが開通し、特に東港インターができてからは、交通量が以前とは比べものにならないほど多くなりました」と説明してくれました。

伊藤自治会長は「家庭からの雑排水が農業用水路に流入しているので下水路などの環境整備が今後の課題です」と話していました。の神社があります。切尾には、毎晩金、銀、銅三匹の馬が宮詣りをしたという伝説のある切尾山神社があります。この神社は、八世紀ころ建てられたと伝えられ昔から虫よけの神様として尊ばれていました。毎年七月一日には、病害虫の発生のない豊作を願って「虫まつり」の行事が行われています。自治会の役員は、正・副会長、会計の三役と監事三人で毎年一月に開かれる総会で選出されます。任期は一年で二年連続では務めないことにしているそうです。

早通駅のホームを延長

三月末をめどに着工

国鉄早通駅のホームが延長されることになり、三月末の完成を目指して工事が始まりました。白新線早通駅は、現在上り下り合わせて一日四十七本の列車が停車し、一日平均千五百人の乗降客があります。ところがホームが短かく乗り降りが四車両分に限られるため朝夕は混雑し、時には乗り過ぎた線路上に飛び降りる例もありました。

国鉄に対し陳情や要望を続けていきました。国鉄は、当初白新線の複線化工事と併せて施工する計画でしたが、事故防止と旅客サービスを考慮し、昭和六十年年度事業として実施する運びになったものです。今回の工事は、六両編成の列車に対応できるように二つのホームを豊栄駅寄りに四十メートル延長して百三十メートルにするほか、ホームの一部に屋根を取り付けたり待合室の改良等も含まれています。国鉄白新線は、新潟と豊栄間の折り返し列車に伴う増発や豊栄駅、早通駅への定期バス乗り入れ等によって利用が一段と便利になっています。

そこで、豊栄市と市の自治会連合会などが一体となって以前から

県営住宅が大きく変身

早通南団地の県営アパート一号楼では、従来の二世帯分を一世帯用に改造する工事が行われています。この建物は、早通団地のアパートの中で最も古く昭和四十三年に建築されました。それだけに老朽化が目立ち、間取りも狭いため、最近では四階建て二十四世帯分のうち、入居者がわずか四世帯という寂しい状態でした。

そこで、空き部屋対策の一環として、入居者から他の棟に移転していただき「二戸一住宅」に改造することになったものです。工事は隣の部屋との壁を取り除き、部屋、台所、浴室、トイレ、物置など全てがゆつたりし、面積は七十七平方メートル（約二十三坪）と大きく変身します。工事は今年二月に完成し、新しく入居者を募

昭和六十一年元日
ラジオを持って鎮守様へ行き、零時の時報正確に初参りをしました。私は昭和二十九年の元旦に、小学二年生の長女と三歳の二女を連れて行ってから、毎年このような初参りをしています。当時は私たちだけでしたが、テレビの紅白歌合戦を見てお参りに出発する人が多くなりました。
昭和三十七年の豪雪では、カンジキを履いて行ったのは私一人だけでした。
第十九回の元旦歩こう会は雨の中でした。今までに本格的な積雪は二回、初日の出を拝んだのも二回で、雨の元旦歩こう会は初めてのようです。参加者は六百十九人でした。十九回連続参加者は法花鳥屋の渡辺亮さん（七三歳）など

中一の日記 石井耕一

六人です。私は年頭の挨拶の中で、いつも一つだけ同じことを言います。「元気で新年を迎えたことは何よりもありがたいことです。公民館を出てすぐ前を通る病院に、百数十人が病床で新年を迎えています。お気の毒な人をあたたかく思いやり、みんなの幸せを祈りながら、今年もいい年にしましょう」
参加記念手ぬぐいに、真に因んだクイズと寅の百面相を書きました。ある老人から家へ電話がありました。「クイズの一つだけ分からないのがあるの、市役所、公民館、社会教育課へたずねたが、どこも分からないので、直接市長におたずねします」というのです。
集めることにしています。
なお、同じタイプの二号棟、三号棟も、昭和六十二年度までに逐次改造する予定です。
小学校ミニバスケット大会
十二月二十五日、総合体育館
（男子）
一位―早通南小、二位―岡方第二小、三位―豊栄南小、岡方第一小（女子）
一位―早通南小、二位―笹山小
三位―葛塚小、岡方第二小

人事異動 一月一日付

（前農業委員会事務局次長）
農業委員会事務局次長、佐藤美代子（前農業委員会庶務係長）
訂正
先号に掲載した、教育委員渡邊敏子さんの年齢は五六歳でした。お詫びして訂正いたします。